

「ヒヤリ・ハット」体験事例

令和6年8月～令和7年7月

分類: 収集運搬

事故の型: 転倒転落

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策
1	取引先現場	廃棄物をトラックの荷台に積込む時	足がすべった。	足元を確認する。
2	工場内	10tダンプトラックに乗車しようとステップに足を掛けた時	長靴裏底についていた泥で滑り、転倒しそうになった。	長靴裏底の泥をしっかりと除去してから乗車するようにする。

分類: 収集運搬

事故の型: 衝突・接触

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策
1	一般道路	収集運搬中	バイパスに入ろうとした時、左車線から分岐ギリギリで割り込んできてヒヤリとした。	分岐点では自分が優先だと思わず、左右の安全を確認してから進入するようにする。
2	一般道路	運転中	運転中に煙草を吸っており、灰を灰皿に入れる際に前方不注意によりトラックで追突事故を起こす。	運転中は煙草を吸わない。
3	一般道路	自動車運転中	駐車場から県道に出ようとした時、県道を走行する車が左ウインカーを出していたため、駐車場に左折して入ってくると思い、発車しようとしたところ、一つ先を左折したため、衝突しかけた。	思い込みをなくす。急がずに確実に相手車両の動きを見切ってから運転を行う。
4	一般道路	トラック運転中	相手側の一旦停止の無視により、側面に車両が突っ込み車両事故を起こす。	一旦停止が必ず止まるとは思わず、運転を心がける。
5	一般道路交差点	自動車運転中	交差点の手前で、左前方を走っていた自転車が急に右折をはじめてきた。接触しそうになったので、ブレーキを踏んで接触を避けることができた。	自転車は急な動きをしたり、「ながら運転」をしているかもしれないので十分な車間距離を保って対応する。自転車のおかしな動きを後方から事前に察知する。

6	一般道路交差点	青信号になり発進しようとした時	いきなり車が割り込んできてぶつかる所だった。	自身がちゃんと運転していても周りをよく見て運転するよう気を付ける。
7	工場内	10tダンプトラックでヤードまで廃コンクリートを運搬し、荷下ろしする為に後進しようとした時	すぐ後方を人が横切り、接触しかけた。	後進中の車両や重機の後方は立入禁止にする。工場内の歩行ルートを決める。重機・車両は後進する時、バックカメラや目視で安全確認する。
8	工場内	廃棄物をダンプトラックに積み込みしようとホイールローダーを前進させた時	ホイールローダーのタイヤがぬかるみで滑りダンプトラックに接触しそうになった。	作業前に場内の路面状況を確認し、ぬかるみがあれば整地する。出来るだけ路面状況の良い場所で作業する。

分類: 収集運搬
事故の型: 飛来・落下

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策
1	取引先現場	便器を撤去する研り作業中	便器を撤去した小さい穴に工具を落としてしまった。幸い下に作業員はいなかった。	小さい穴でもコンパネ等で塞いでおく。上の階で作業をする時は、下の階ではない

分類: 収集運搬
事故の型: 挟まれ・巻き込まれ

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策
1	工場内	伐採後、重機で木を引き出す作業をしている時	作業範囲内に他の作業員がいて、集積中の木がぶつかりそうになった。	作業前に作業範囲に作業員がいない事を確認後、作業を開始する。慌てず、安全を第一に作業する。

分類: 中間処理
事故の型: 転落・転倒

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策
----	-----	----------	----------	--------

1	工場内	複数のパレットに物を置く仕分け作業中	複数のパレットが密集しておかれていた為、足場が悪く作業員がつかずいた。幸い、バランスをとることが出来て転倒しなかった。	作業場に複数のパレットを置く場合は、パレットの定位置を決める。
2	工場内	重機からの降車時	3点支持をせずに降車しようとし、足が滑り転倒しそうになった。	乗車時、降車時は必ず3点支持をする。

分類: 中間処理
事故の型: 衝突・接触

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策
1	工場内	重機で選別作業をしている時	作業員に気付かずバックをしてしまい、接触事故を起こしそうになった。	夕方薄暗くなってきている時間の作業だったため、お互い気付くのが遅くなってしまった。暗くなる前に早めに照明をつけて作業する。
2	工場内	バックホウでコンクリート破碎時	オペレーターが破碎時に搬入の車が近づいて来るのに気付かず接触しそうになった。	破碎作業に集中しすぎず、周囲を確認し作業する。搬入時に誘導員を配置し、車両の誘導を行う。搬入時は重機を停止する。
3	工場内	搬入車両の軽量作業中	計量中の車両が計量器から降り、次の車両が後進をはじめたところ、荷下ろし終わりの車両が後方を通行しようとして接触しかけた。	計量中の車両ドライバーへの声かけの徹底をする。重機オペレーターは場内事故を防止するため、危険時はホーンを使用することを周知する。
4	工場内	荷下ろし作業と現場作業をしている時	お昼前でバタバタしていたため、荷下ろししているトラックに現場作業しているリフトマンが気付かずバックしてきた。誘導員がリフトに気付いて止めたが、接触事故ギリギリだった。	無線連絡は行っているのでリフトマンがもう少し注意すべきだった。現場近くで荷下ろしする際は、現場作業を止めて荷下ろし作業を優先する。
5	工場内	コンクリート破碎機で作業中	コンクリート破碎物と鉄筋をベルトコンベアで送って磁選機で鉄筋を取り除いた時に近くの別の作業員が近づき接触しそうになった。	破碎作業時は近づかないようにする。鉄筋集積場に囲いを設置し、入れないようにする。

分類: 中間処理
事故の型: 挟まれ・巻き込まれ

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策
----	-----	----------	----------	--------

1	工場内	金属を切断機で加工中	刃物と台の間に指が挟まれ指を切断しそうになった。	長尺物を切断する場合、跳ね返りに注意する。台より短い物を切断する場合、工具等を使用し切断する。1人作業はしないようにする。
---	-----	------------	--------------------------	---

分類:最終処分
事故の型:転落・転倒

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策
1	調整池	水中ポンプの交換中	ボートの上で立ち上がって水中ポンプを引き上げようとしてボートが傾き池に落ちそうになった。	ボートの上では、むやみに立ち上がらない。常に重心を低くして何かの作業をする際は、他の作業員と船上での重量バランスを考え、声を掛け合いながら作業を行う。

分類:最終処分
事故の型:挟まれ・巻き込まれ

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策
1	工場内	看板を取り付け中	インパクトドライバーの先端が左手人差し指の軍手に接触し巻き付いて、人差し指が締め付けられた。	ボルトの頭から指が出ないように気を付けて低速でゆっくりドライバーを回す。